投　稿　規　程

（第36巻３号からこの投稿規程に沿って投稿して下さい）

［平成20年６月27日改訂］
［平成24年１月21日改訂］
［平成27年10月13日改訂］
［平成28年１月22日改訂］
［平成29年１月27日改訂］

1．本学会機関誌『歯科薬物療法』は，歯科領域で使用するすべての薬物，抗菌感受性，漢方薬，歯科未承認薬，歯科材料，手術材料，消毒薬，口腔化粧品及び歯科領域における消毒・感染予防等に関する新知見の認められる論文を原著または短報として掲載し，その他に症例報告，及び日本歯科薬物療法学会機関誌編集委員会（以下，編集委員会と略す）が依頼した総説を掲載する．

2．本誌に掲載する論文は本会員によるものとし，ほかの雑誌に未発表のものに限る．

3．原稿の採否は編集委員会の査読により決定する．尚，掲載は原則として受付順とし，体裁の統一のための変更は一任されたい．原稿は総説，原著論文，症例報告，調査研究，紹介記事，会員書簡（レター）とし，投稿票に希望を表示する．但し，その決定は編集委員会で行う．

4．動物実験は各種最新の規程並びに研究機関等の長の責務とされている機関内規程の策定及び動物実験委員会の規定に準拠し，実施したことを明記する．

5．患者を対象としたデータの公表に際しては，厚労省・文科省からの「医学研究に関する指針（最新版）」等に則り患者から承諾を得ていることを明記し，個人情報の保護に関する法律を順守すること．

6．著者全員について，利益相反のある金銭上または私的な関係を明らかにしなければならない．詳細については「日本歯科薬物療法学会利益相反（COI）に関する指針並びに細則」を参照のこと．

1）自己申告すべき内容がない場合は，論文の末尾に,「利益相反自己申告:申告すべきものなし」と記載する．

2）自己申告すべき内容がある場合は，論文の末尾に以下の記載例の如く記載すること．

（記載例）

著者AはX株式会社から報酬を受けている．

著者BはX株式会社から資金提供を受けている．

7．原稿は次の体裁によるものとする．

1）和文原稿の場合は，A４判の用紙に横書き（12ポイント，1.5行）とし，専門用語以外は，常用漢字，新かなづかい，ひらがな，口語体を原則とする．

2）英文原稿用紙の場合はA４判の用紙に12ポイント，ダブルスペースで印刷する．

3）外国の地名・人名等固有名詞は原則として原綴とする．

4）数字はアラビア数字を使用し，度量衡の記号はJISZ.8202に準じ，メートル法による．

記号表

重　量	kg，g，mg，μg，ng，pg
分子量	mol，μmol，nmol，pmol，Eqwt
長　さ	m，cm，mm，μm，Å，nm
面　積	ha，a，m^2，cm^2，mm^2
熱　量	kcal，cal
容　積	L，mL，μL
濃　度	M，mM，μM，nM，pM，%，ppm，ppb，mg%，（mg/dL）
時　間	h，min，s，ms
温　度	℃，K
放射能	Bq，KBq，MBq，（Ci，mCi，μCi），cpm，dpm
その他	Km，pK，Rf，pH，Vmax，Bmax

5）論文は所定の表紙，内容抄録，本文，表，図（写真）の説明，図（写真）の順とし，すべて用紙の右上に通し番号を付す．

6）表紙には表題，著者名，所属（主任名，また指導者が必要な場合は併記も可），所属機関を和文と英文で記載する．

7）和文原稿の際の内容抄録は，英文でA４判の用紙１枚以内に，英文原稿の際は所定の用紙１枚以内に和文で書かれた対訳を添付する．

8）Keywordは英文及び和文とし，原則として５個以内で，内容抄録の末尾に記入する．

9）引用文献は，本文中の引用した箇所の右肩に片カッコ付で番号を付して引用順に末尾に一括し，次の形式によって記載する．雑誌名の略記は「医学中央雑誌」及びIndex Medicusに従う．引用文献の記述形式は生物医学雑誌に関する統一規程“Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals（いわゆる'Vancouver'style）”の最新版に準ずる．すなわち著者が６名以下の場合は全員記載し，７名以

Presented by Medical*Online

上の場合には初めの6名を載せ，以下“他”“et al”とする．著者のイニシャルの後にピリオドは不要．

※Uniform Requirements for Manuscripts Submitted to Biomedical Journals（URM）の最新版については原文（http://www.icmje.org/）並びにSample references（http://www.nlm.nih.gov/bsd/uni form_requirements.html）を参照のこと．URMの邦訳版がいくつか邦文の医学雑誌やネット上で公開されている．

【例】医学雑誌等の場合

1）金子正樹，中川捷子，上川彰子，小林恵子，岩淵孝夫，清水義則，他．In vitroにおけるMRSAの消毒薬感受性．歯薬療法 2005；15：240-46.

2）Hoen B, DuvalX. Infective endocarditis. N Engl JMed. 2013；368：1425-33.

3）Booth L, RobertsJL, Cash DR, Tavallai S,JeanS, Fidanza A, et al. GRP78/BiP/HSPA5/Dna K is a universal therapeutic target for human disease. JCell Physiol. 2015；230：1661-76.

書籍の場合

4）金仲一郎．感染症サーベイランス2012．中川忍編．歯科口腔外科感染症対策の進歩．東京：デンタルダイヤモンド社：2013. p.254-62.

5）Dimmock NJ. Temporal trends in infective endocarditis in the context of prophylaxis guideline. Berlin：Springer-Verlag；2013. p.134-6.

インターネット上の情報の場合

6）林三郎．平成●●年度●●報告書：http://www.○○○：2012年10月28日現在

7）NICE. Prophylaxis against infective endocarditis：Antimicrobial prophylaxis against infective endocarditis in adults and children undergoing interventional procedures, 2014. http://www.nice.org.uk/CG064（accessed Nov11, 2014）.

10）図，表並びに写真はその挿入箇所を欄外に朱書する．

11）図，表並びに写真中に使用する用語及び説明は原則として英文とする．

8．別刷はその必要部数を原稿の表紙の下部に朱書する．また，その費用は有料とする．

9．掲載費用は依頼原稿を除き有料とする．

掲載料は下記の通りとする．

モノクロページ　掲載1ページあたり 6,000円（税抜）

カラーページ　掲載1ページあたり15,000円（税抜）

英文原稿は英文校正（ネイティブ・チェック）を済ませて投稿すること．修正後の論文は，編集委員会で英文校正（有料，実費）を依頼することもできる．

10．原稿の作成は，文章はWord，表はWordまたはExcelを使用する．図はTIFFまたはJPEGの保存形式を用い，写真は350dpi以上の解像度，グラフなどの線画原稿は800dpi以上の解像度で作成する．

11．初回投稿は，10．の形式で作成した原稿をパスワードをつけたPDFファイルに変換し，学会ホームページより電子メールで送信し，別メールにてパスワードを送信する．受理した原稿は返却しない．

12．印刷の都合上，採択後にオリジナル原稿のファイル（PDF化する前のWord，Excel，TIFF，JPEG等のファイル）一式を事務局あてに送信する．なお，提出された原稿は返却しない．

13．校正は原則として初校のみを著者校正とする．このときの大幅な字句の修正，図，表並びに写真の変更等は認めない．

14．本誌に掲載された論文の著作権（著作財産権，Copyright）は，本会に帰属する．但し，商業的利用についてはその都度，当該著作者の承認を要するものとする．

15．論文受付日及び受理日：投稿論文の受付日は，編集委員会が投稿を受け，投稿にかかわる諸書式を受領した日付とする．投稿論文の受理日は，編集委員長の指名した編集委員あるいは本学会評議員の資格を有する専門家の審査を受けた後，編集委員長が最終的に本学会誌への掲載を許可した日付とする．

16．投稿先：

〒150-0001
東京都渋谷区神宮前2-4-11
Daiwa神宮前ビル1F
株式会社大伸社（DS&C）内
一般社団法人日本歯科薬物療法学会事務局 宛
http://jsotp.kenkyuukai.jp/special/?id=14860
（E-mail：jsotp-sec@daishinsha.jp）

Presented by Medical*Online

会員書簡（Letter to the editor）投稿規程

1　著者は，日本歯科薬物療法学会会員に限る．会員書簡の内容は，本誌掲載論文または歯科薬物療法に関するものとする．

2　原稿は和文とする．原稿の長さは刷上り１頁以内（投稿規程に沿った体裁でＡ４版用紙３枚以内）で，写真，図および表を含まないものとし，掲載料は一律6,000円（税抜）を個人負担とする．ただし，編集査読委員会より依頼された際は印刷費については本学会の負担とする．

3　会員書簡への回答文の掲載料は無料とする．

4　会員書簡の構成は，表紙，本文，引用文献の順とする．

5　会員書簡は，本規程ならびに本誌投稿規程に準じること．

6　表紙は，標題，著者名，所属機関名を記載する．

7　本誌掲載論文の内容に関する会員書簡の標題には，該当掲載論文名を明記し，以下に準じて記載する．

例）「中川洋一．口腔乾燥に関する用語の定義．歯薬療法 2016；35：28-34.」について

8　引用文献は，投稿規程に準じて記載する．

9　校正は原則として初稿を著者校正とする．

10　投稿票に必要事項を記載し添付すること．また，別冊を希望する場合は著者負担とする．

11　編集査読委員会は必要に応じて，当該論文の著者などに対し会員書簡への回答文を求めるものとする．会員書簡の採否および編集は本委員会に一任されたい．

12　投稿は投稿規程に準じて行う．

13　本雑誌に掲載された論文の著作権（著作財産権，copy right）は本学会に帰属する．

Presented by Medical*Online

二次出版（secondary publication）投稿規定

1）編集委員会は，二次出版論文として以下の規定を満たす論文の投稿を認める．

a）著者は，原則，日本歯科薬物療法学会会員に限る．

b）論文の内容は歯科薬物に関するものとし，一次出版物に掲載された論文内容ならびに写真・図・表の加筆・修正・変更は行わずにそのまま日本語表記とすること．

c）一次出版論文は国外の学術雑誌に掲載されたものに限る．国内の学術雑誌に掲載された外国語論文は認めない．

d）一次出版側の編集責任者の許諾文書をPDFにし添付すること．許諾文書は著者が取得するものとする．

e）一次出版論文の別冊もしくはそのコピーをPDFにし添付すること．

f）一次出版論文の著者全員の署名と捺印を記載した「二次出版論文投稿承諾書」のPDFを添付すること．

g）二次出版論文の投稿は，一次出版物の発行後とする．

h）論文の構成ならびに体裁は，本規定ならびに投稿規定に準ずること．

2）冒頭は表紙とし，次の順序で各項目を記載する．

和文標題・著者名，英文標題・著者名，ランニングタイトル（30字以内），和文所属機関名・所属機関の主任者名，英文所属機関名・所属機関の主任者名，二次出版であることを明記した脚注，の順に記載する．

【脚注記載例】本論文は，「一次出版論文の掲載雑誌名　巻：最初の頁－最後の頁　発行年.」に掲載された論文「標題」を二次出版したものである．

3）校正ならびに掲載費用・別冊，原稿の投稿，論文の採否ならびに著作権については投稿規定に準ずる．

Presented by Medical*Online

投　稿　票

歯科薬物療法学会

論文種別：

	総説		原著		症例		調査研究		二次出版		紹介記事		初稿		再投稿

1. 表　題

（英文）

2. 略　題（25字以内）

3. 著者名

（英文）

筆頭著者の生年月日（西暦）　　年　　月　　日

4. 所　属

（英文）

5. 主任または指導者名

（英文）

6. 原　稿（原稿には通しの頁番号を記入のこと）

本文　　枚，文献　　枚，表　　枚，合計　　枚

図（写真を含む）：カラー希望　　枚／モノクロ　　枚

7. 発送日

8. 別冊・校正

送付先　氏　名

住　所　〒　　－

所　属

TEL：　　E-mail：

請求先（上記と異なる場合記入）

9. 別冊希望部数　　部

10. 希望する査読分野

□薬理　□細菌　□薬剤　□病理　□麻酔　□小児歯科　□保存（□歯内・□歯周）

□口腔外科　□漢方　□口腔ケア　□衛生士　□その他（　　）

11. J-Stage早期公開（手数料1,000円は投稿者負担）

希望する　・　希望しない

12. 英文添削（ネイティブチェック）

要　・　不要　　※添削料金は投稿者負担

※受領日	年　月　日	※受理日	年　月　日

※は記入不要

Presented by Medical*Online